

# 今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○4月7日～

先週はトランプ大統領の関税発動のニュースで相場は大きく崩れました。

為替相場については、歴史的な下げとはなっていませんが米国株が総崩れの状態となり、日本株や世界の株価も大暴落となっています。

米国は5日から一律に全ての国に10%の関税をかけると発表しました。それ以外に米国から見て貿易赤字がひどくなっている国に対しては、さらに上乘せで9日から相互関税をかけます。

日本の相互関税は24%となっています。非関税障壁などを含めると、日本は実質的に米国に46%の関税をかけているということが理由です。

アジアの国は日本よりも関税が高くなる国が多く、中国34%(現状の20%にさらに上乘せ)、台湾32%、カンボジア49%、ベトナム46%など驚異的な数字になっています。インドは26%、韓国25%、EU諸国は20%、英国は10%、オーストラリアは10%となっています。

今後どの程度の影響がでるのか予想が難しく、リスク資産から資金が逃げる動きが加速しました。ただし、仮想通貨などは株に比べると下げが弱く、高値にあった金(ゴールド)や株の下げが大きくなっています。

そして、米国だけでなく、4日には中国が報復関税として米国と同率の34%の関税をかけるという発表もあり、4日の金曜は雇用統計を待たずに株式相場は溶けるように夕方から下げていきました。中国はレアアース(希土類)7種の輸出規制も発表しました。

完全に貿易戦争に突入した状況で、米中の貿易戦争は世界貿易に大きな影を落としそうです。

また、日経平均などと連動しやすいナスダックがテクニカルで見て、弱気相場入りとの判断となってきたことで、半導体、自動車、ハイテク関連にとっては厳しい状況が続くそうです。

さらに、ハイテクだけでなく一般的な消費財(服や靴など)にも影響が出るため消費が大きく冷え込む可能性があります。

為替については雇用統計発表後にドル高が進み、雇用はそこまで弱くないということで早期利下げ観測が遠のいたことでドル/円には追い風が吹いています。

株の暴落で日本が利上げに動きにくくなり、米国が関税でインフレ再燃となった場合は、日本は利上げができず、米国も利下げができない状況となり、ドル高円安要因となります。

最近の為替相場は株式相場との連動があまり見られなくなっているため、株の暴落のニュースで動揺せず、各通貨の動きをチャートでしっかりと確認しながら取引していきたいです。

また、テクニカルで見るとNYダウもサポートあたりまで下げているので、今週は株価の反発や先週の行き過ぎた動きの修正が入る可能性があります。

これ以上、関税に関して悪いニュースが出なければ、材料出尽くしでリスク回避的な動きはおさまってくると思います。

## 今週の相場はどうなる？ 今週の相場はどうなる？

### ● テクニカルで見た重要ポイントは？

#### <ドル/円>

先週のドル/円は144.5円あたりまで下落しましたが終値では146円台後半まで戻しています。

145円を早期に回復してきたことで、底打ちの可能性が出てきました。

146円あたりにサポートがあるため146円を維持できれば上昇が期待できそうです。

割り込んでも145円台を維持できれば円高リスクはおさまってきそうです。

上値は、147.5円を超えれば150円を目指す動きになりそうです。

150円手前には抵抗も多いため149円あたりでは利益確定を考えておいた方がよさそうです。

#### <気になるクロス円>

クロス円も先週はほとんどのペアが大きく下げています。

ユーロはそれほど大きな下げとなっていませんが、オセアニア通貨(豪ドル、ニュージーランドドル)は週足で見ても大きな陰線となっています。

新興国の通貨や株価などの下げがきつくなっています。

トランプ関税の影響が新興国にも大きな打撃となっているためです。

リスク回避的な動きが強まると新興国通貨は大きく売られやすいため、今後も注意がいらいます。

週足、月足が下がってきているペアについては、買いは慎重に判断しないと危険です。

\*クロス円とは円との通貨ペアの総称:〇〇/円というような通貨ペアのことです。

#### <今週のファンダメンタル？>

日本では2月貿易収支、植田・日銀総裁の発言などがあります。

米国ではFOMC議事要旨、3月消費者物価指数、前週分新規失業保険申請件数、3月月次財政収支、3月卸売物価指数、4月ミシガン大学消費者信頼感指数などの発表があります。

欧州ではドイツで2月鉱工業生産、3月消費者物価指数、ユーロ圏で2月小売売上高などがあります。

ほかには、ニュージーランドで政策金利、英国で2月GDPの発表などがあります。